



McAfee SaaS Email Protection & Continuity

電子メール保護、接続性の維持、コンプライアンス対応で効率的なビジネス展開

電子メールの保護とアクセスを簡単に

McAfee SaaS Email Protection & Continuityの電子メール保護機能の特徴:

境界でのIPフィルタリングにより、ネットワークに侵入する前に脅威を阻止

高度なスパム/詐欺対策

多層型のスキャンでウイルスやワームを検出し、既知のウイルスを完全にブロック

電子メール攻撃対策

送信メールのメッセージと添付ファイルにフィルタリングとポリシーを施行

メッセージの接続性を維持

グループポリシー管理

メッセージ監査での追跡と破壊機能

オプションのMcAfee SaaS Email Encryption

McAfee® Security-as-a-Service (SaaS) Email Protection & Continuityを使用すると、電子メールの保護を簡単に行うことができます。このクラウドベースのサービスはスパム、フィッシング詐欺、マルウェア、グレイメール、不適切なメールコンテンツの侵入を阻止するだけでなく、送信メールポリシーによりデータの流出を防ぎます。電子メールの接続性が常時維持され、電子メールにいつでもアクセスできます。ハードウェアの購入やソフトウェアのインストールは不要です。自動更新で最新の脅威から保護されるのでビジネスに専念できます。

電子メールはビジネスに不可欠なツールです。標準的な会社のメールサーバーでは、一日に数千通のメッセージが送受信されています。電子メールのセキュリティと接続性の維持は簡単な作業ではありません。このため、IT部門のメンバーをより戦略的な業務に割り振ることができません。

低コストで管理しやすい電子メール保護

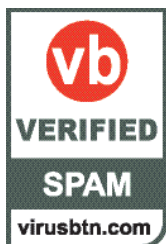
McAfee SaaS Email Protection & Continuityは、電子メールへの常時アクセスを維持しながら、ネットワークやユーザーに影響を及ぼす送受信メールの脅威を阻止します。このSoftware-as-a-Service型セキュリティは常時稼働し、常に最新の状態を維持します。セキュリティの管理に時間をかける必要もリソースを増やす必要もありません。プロキシベースのサービスでスパムなどの電子メールの脅威をブロックし、ネットワークへの侵入を防ぐので、メールサーバーへの負荷が大幅に減少し、貴重な帯域幅とサーバーストレージを有効に利用することができます。また、業界最高のMcAfeeカスタマーサポートを必要とときに、いつでも利用できます。

Webベースの管理とレポート

使いやすいWebベースの管理コンソールで、事前定義のベストプラクティスを実践できます。電子メールポリシーを更新してドメイン全体を簡単に管理できます。ITリソースを解放できるので、総所有コストを抑えることができます。管理者は、コンテンツフィルタリング、添付ファイルのコンテンツルールなどのポリシーを設定し、施行できます。ポリシーはユーザーグループ全体だけでなく、個別に適用することも可能です。詳細なレポート、ログ、隔離機能により、究極の可視化を実現できます。

信頼性の高い強固なインフラ

弊社のSaaSデータセンター戦略では、4つの大陸でデータセンターを運営しています。各データセンターはISO 27001認証を取得し、アクティブ/アクティブ構成の冗長ハードウェアを導入し、ファイアウォール、ルーター、ロードバランサー、スイッチのすべてのレイヤーで完全な冗長性を実現しています。ネットワークとアプリケーションのモニタリングを自動化し、不審な活動や問題が検出されるとリモートのオペレーターにアラートが通知されます。また、セキュリティ専門家が24時間体制でシステムの監視を行っています。



手頃な価格で電子メールのセキュリティと接続性を維持
ハードウェアやソフトウェアの購入、保守、管理、更新は不要
初期投資が不要
セットアップやアップグレード費用が不要
自動的な有効化と同期でシームレスな継続性を維持
Webベースの管理作業
追加料金なしでカスタマーサポートを常時利用可能
ISO 27001認定

電子メールへのシームレスな接続で、企業イメージを保護し生産性を向上
システム停止を検出すると自動サービスを開始
システム停止時はセキュアなWebインターフェースから受信メールにアクセス
閲覧、作成、応答、転送、削除などすべてのメール操作が可能
停止後の電子メール操作を自動的に同期
停止通知とシステム更新
両方向のメッセージフィルタリング

Microsoft Office 365とGoogle Apps for Businessに対応

詳細情報
McAfee SaaS Email Protection & Continuityなど、手間のかからない高度なSaaS型ソリューションの詳細については、www.mcafee.com/saasをご覧ください。

非常に強固な電子メールセキュリティ

高度なスパム対策
Stacked Classification Frameworkスパム検出システムと特許取得済みの技術により、言語に関係なくスパムメールの可能性を評価します。それぞれのフィルタリング技術が画像スパムなどの特定の脅威を識別するように設計されています。これらの技術を組み合わせることで、業界で最も正確かつ包括的なフィルタリングプロセスを実現しています。

McAfee Global Threat Intelligence (McAfee GTI) メッセージレピュテーションがメッセージを調査し、既知または新しいメッセージの脅威を検出します。ホワイトリストに登録された企業のシステムが脅威に感染することもあるため、評判の良いソースから送信されたメッセージも例外なく調査します。電子メールをより正確かつ効率的にブロックまたは隔離し、パフォーマンスを最大にするため、McAfeeクラウド、McAfee Labsの研究者、自動化ツールからセンサーが収集した情報だけでなくWeb、電子メール、ネットワーク脅威のデータを相関的に分析した情報も使用してスコアを算出しています。

グレーメールフィルタリングで受信トレイを保護
スパムメールの中には、不正なものではなく、ユーザーが以前に請求し、現在は不要になったものもあります(業界のニュースレターやお知らせなど)。グレーメールフィルターを使用すると、グレーメールポリシーを個人またはグループに設定できます。メールボックスが不要なメールでいっぱいにならないように、この機能の設定をユーザーに許可することもできます。

多層型のスキャンでウイルスとワームを効率的にブロック

McAfee SaaS Email Protection & Continuityでは、弊社独自のWormTraq検出技術を採用しています。業界最高のシグネチャベースのウイルス対策エンジンとMcAfee GTIを使用して、メッセージの本文と添付ファイルをスキャンし、マルウェアを検出します。受信メールの脅威を阻止だけでなく、送信メールをフィルタリングし、クライアントへのマルウェアの感染を防ぎます。

完全な拡張性で大規模な電子メール攻撃から組織を保護

サービス拒否攻撃やSMTPを使用した攻撃(ディクショナリハーベスト攻撃、メール爆弾、チャンネルフラッド攻撃など)を瞬時にブロックし、組織のネットワークや重要なメッセージングゲートウェイを電子メール攻撃から保護します。

組み込みのTLS暗号化で組織間の通信を保護
受信メールと送信メールに高度なセキュリティを必要とする環境では、弊社のTLSプロトコルが暗号化された送受信メッセージをフィルタリングし、TLS証明機関の検証を行い、セキュアトンネルで電子メールを送信します。

電子メールの継続性を維持

電子メールネットワークの停止で業務を止めることはできません。McAfee SaaS Email Protection & Continuityを利用すれば、自然災害や停電、あるいは定期保守でネットワークにアクセスできない場合でも、従業員、顧客、パートナー、サプライヤーの接続を維持できます。安全で使いやすいWebインターフェースを使用して、メッセージの送受信や保存されたメッセージの検索を行い、隔離項目とメッセージストアを管理できます。

事前定義のルール、高度なコンテンツスキャン、ドキュメントフィンガープリンティング

McAfeeの業界最先端の技術を搭載した高度なデータ損失防止(DLP)とコンプライアンス機能を利用できます。McAfee SaaS Email Protection & ContinuityとMcAfee SaaS Email Encryptionを利用すると、PCI-DSS、医療、金融データ、プライバシー条例などに対応した事前定義のコンテンツルールを使用して、コンプライアンスポリシーを簡単に作成できます。300以上の文書タイプに対応しているので、送信メールによるデータ漏えいを防ぐことができます。

高度なドキュメントフィンガープリンティング技術により、文書のデジタルフィンガープリントを作成して、ポリシーによる制御が必要なコンテンツを指定できます。ポリシーは、電子メールと添付ファイル全体またはコンテンツの一部に対して柔軟に施行できます。キーワードとフレーズの記述に正規表現も使用できます。

簡単に使用できるプッシュ/プル暗号化
McAfee SaaS Email Encryptionを使用すると、受信者側で暗号化ソリューションを利用していない場合でも、重要な情報を暗号化できます。使いやすいプッシュ/プル暗号化技術により、モバイルデバイスでもデータのプライバシーを保護できます。

Security Connectedによるセキュリティ管理とコンプライアンスの最適化

セキュリティソリューションを緊密に統合することで、管理作業を簡素化し、短い時間でセキュリティ機能を習得できます。また、組織全体のセキュリティ状況をリアルタイムで簡単に把握できます。McAfee SaaSソリューション全体をワンストップのコンソールで管理できます。

変革の時

保守作業を最小限にし、ITスタッフをより戦略的なプロジェクトに割り当てましょう。詳細については、www.mcafeesaas.comをご覧ください。無料のトライアルも入手できます。



McAfee. Part of Intel Security.

東京本社 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-12-1
渋谷マークシティ東20F
TEL 03-5428-1100 (代) FAX 03-5428-1480
西日本支店 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島 2-2-2
近鉄堂島ビル 18F
TEL 06-6344-1511 (代) FAX 06-6344-1517
名古屋営業所 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 4-6-17
名古屋ビルディング 13F
TEL 052-551-6233 (代) FAX 052-551-6236
福岡営業所 〒810-0801 福岡県福岡市博多区中洲 5-3-8
アクア博多 5F
TEL 092-287-9674 (代)

www.intelsecurity.com

IntelおよびIntelのロゴは、米国法人Intel Corporationまたは米国またはその他の国の関係会社における登録商標です。McAfeeおよびMcAfeeのロゴは米国法人McAfee, Inc.または米国またはその他の国の関係会社における登録商標または商標です。その他すべての登録商標および商標はそれぞれの所有者に帰属します。本資料は情報提供を目的としています。ここに記載されている製品計画、仕様、説明は予告なしに変更される場合があります。本資料の内容について弊社はいかなる保証も行いません。Copyright © 2013 McAfee, Inc. 60166ds_saas-protect-continuity_0313B